

衆議院議員総選挙の結果についての知事コメント

自公政権の継続が確定的な中で、1区、2区、3区とも、現職の自民党3候補が当選され、引き続き国政の場において我が国の安定的発展に力を尽くしていただくとともに、少子高齢化や人口減少問題、地方経済の活性化など課題が山積している本県のため、引き続き力強いお力添えをお願いしたい。

また、希望の党のお二人にも、国政の場での立場を越え、本県の課題解決のため、ご助力いただくことを大いに期待する。

菅義偉官房長官におかれては、内閣の要として、日本のため、ふるさと秋田のため大いに活躍いただきたい。

今回の総選挙を概括すると、自公で三分の二を超える議席を獲得したことは、野党が分裂し核となる政党の存在が解りにくく、仮に野党全体で過半数を占めたとしても、政権運営が混乱することは必至と見なされ、内外とも多難な状況の中であって、安定した政権運営ができる自公政権の継続に国民の期待が集まった結果であると考えている。

自公政権には、国民の将来への希望、政治への信頼という視点を重視しながら、我が国の存亡を左右する確たる安全保障に加え、少子高齢化・人口減少という静かなる危機への根本的な解決につながる政策を推進するとともに、第4次産業革命が進展する中での経済の活性化、東京一極集中の是正を進めるほか、食糧・エネルギーなど基幹部分において国を支えている地方を重視する政策の推進にも、全力で取り組んでいただきたい。

平成29年10月23日

秋田県知事 佐竹 敬久